



さくら通信

第7号

令和7年11月4日

発行者 校長 榎田 慶一



桜丘小学校の学校教育目標

～ 共に学び合い、心豊かにたくましく生きぬく子どもの育成 ～

- 【本年度のスローガン】
- ・互いに認め合い、協力して活動する子ども
 - ・児童・保護者に寄り添う職員集団
 - ・キーワード 「桜丘プライド」「自己肯定感」「共感的理

令和7年度大運動会

来る、11月9日(日)に令和7年度の大運動会を実施いたします(雨天の場合は12日(水)に延期)。多くの保護者の皆様、地域の皆様のご来校をお待ちしています。

10月21日の練習開始以来、全校児童、一生懸命に取り組んでいます。特に応援団の児童は朝早くから応援合戦の練習に取り組み、児童全体の雰囲気を盛り上げる努力を行っています。

また、6年生にとっては小学校生活最後の運動会となります。紅白対抗で行うため、勝敗が付きますが、その思いを超えた心と体でよい思い出を作ってほしいと思います。

さて、その6年生は5年生とともに本校伝統である「桜丘ソーラン」を踊ります。激しい動きとかけ声が大きな迫力となって見るものに訴えています。ぜひ、お楽しみにしていただきたいと思います。



ここで、この「ソーラン」を少し深堀してみたいと思います。
「ソーラン」とは元々、北海道の日本海側で盛んだったニシン漁の際に漁師たちが力を合わせ作業するときに歌っていた「ソーラン節」が源です。そして、現代になり「踊りソーラン」が学校の運動会や文化祭、地域の祭りなどで踊られるようになりました。その中でも全国の学校で運動会や文化祭等で踊られている「ソーラン」は「南中(なんちゅう)ソーラン」が発祥となっています。

これは、1991年、北海道稚内(わっかない)市立稚内南中学校で生徒たちが「自分たちの学校の伝統となる踊りを作ろう」という思いから誕生したのが「南中ソーラン」です。その振り付けやかけ声の一つ一つには意味があり、踊り全体で漁師の仕事とそこにかかる人々の力強さを表現しています。

北海道日本海側の海の荒々しさ、その荒波に立ち向かう人々の精神力、力強さ、団結力を表現しているものが「南中ソーラン」です。その後、約35年という時間の中で、この「南中ソーラン」は全国に広まり、その土地その土地で少しずつアレンジされ今に至ります。

本校においても「想いを繋げ! 桜丘ソーラン!」というプログラム名でソーランを踊ります。代々繋がってきた想いを胸に、桜丘小学校の児童としての「誇り」と、保護者や地域の方々をはじめ、支えてくださっている方々への「感謝」の思いを込めて踊ります。ぜひご観覧ください。



創立70周年記念航空写真撮影

10月22日(火)に創立70周年記念の航空写真を撮影しました。本校のイメージキャラクター「さくらん」「さっくん」を人文字で作り上空から写真撮影をしていただきました。

70周年については大々的な式典等は行いませんが、今回の航空写真が掲載されたクリアファイルの配布や、12月6日(土)には、記念行事「逃走中」と「マジック・ジャグリングショー」(詳細は別途連絡)を行います。記念行事に向けてご準備いただく、PTAの皆様には心より感謝申し上げます。

70年という長きにわたり、本校を支えていただいた地域の皆様、代々の保護者の皆様、そして本校の卒業生の皆様に厚く御礼申し上げます。

【お知らせ】

学校だより「さくら通信」について、今号より字体を従来の「明朝体」から「UDデジタル教科書体」に変更しています。字の大きさは「12pt」です。「UD」とは「ユニバーサルデザイン」を表しており、年齢や性別、障害の有無などの関わらずすべての人が利用しやすいように設計されたデザインを表しています。今号以降、この「UDデジタル教科書体」でさくら通信を発行いたしますのでご理解のほどよろしくお願ひいたします。